

社会福祉法人 令和5年12月号



葦の家福祉社会だより

えりあ〜ト展

開催
しました!

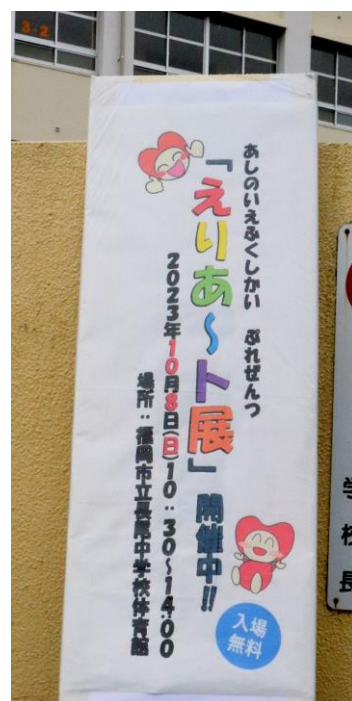


葦の家の恒例行事である「わはは祭り」がコロナ禍により3年間中止となり、今年はその代替イベントとして「えりあ〜ト展」を企画し、10月8日（日）にお隣の長尾中学校の体育館をお借りして開催しました。

次年度以降の「わはは祭り」の再開に向け、弾みがつくイベントになるようスタッフ一同、準備を進めてきました。ちなみにタイトルの「えりあ〜ト展」は今回展示を行う3施設（えーる油山、りーど、葦の家）の頭文字をとって名付けています。

仲間たちが描いた作品やりーど10周年の記念展示、葦の家・えーる油山の授産品販売、後援会主催のミニミニバザーなどを行いました。ご来場いただいた地域の方に仲間たちのことや法人の取り組みについて知っていただける機会にもなったのではないかと思います。

当日は終日雨の降る悪天候でしたが150名程の来場者があり、仲間たちも楽しく参加していました。ご来場いただいた皆さま、会場を提供していただいた長尾中学校様、広報活動にご協力いただいた地域の皆さま、前日・当日にボランティアとしてご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。





入り口ではわははあーと君がお出迎え！



葦の家は授産品の原画を展示しました



えーる油山は「ようこそえーるの森へ」と題した回廊型の展示を行いました



授産品販売も好調でした(^^)



りーどは10周年の記念展示を行いました



スタンプラリーも楽しめました！



後援会のミニミニバザーも行いました

法人トピックス



樋井川 4 丁目夏祭りに参加しました



8月5日(土)に葦の家のある樋井川4丁目の夏祭りが開催されました。コロナ禍の影響により4年ぶりの開催です。法人内各事業所のスタッフにも手伝ってもらい、地域の方々と一緒に準備を進めました。祭り本番では仲間たちもバザー出店やステージ出演などで参加し、地域の方々と楽しい時間を過ごすことができました。

地域の人たちにとっても待ちに待った再開で、たくさんの子もたちがあふれんばかりの笑顔で祭りを楽しんでいるのがとても印象的でした(*^-^*)



堤地区大運動会!



10月1日(日)に堤小学校で開かれた『堤地区大運動会』に参加しました! 樋井川4丁目の皆さんとパン食い競争、宝釣り、町別対抗リレー、百足競争、玉入れ、大玉転がしに参加しました(´o`)、

実行委員会を通して準備の段取りを進め、前日のテント設営から当日の撤去まで、4丁目の皆さんと一緒にやり切りました!

総合順位は振るわなかったものの、リレー予選では1位になるなど、それぞれの競技でいっぱい盛り上がりました(๑>_<_)

新商品のご紹介!

葦の家とえーる油山の秋・冬の新商品をご紹介します!



1個 350円

石鹸を羊毛フェルトでくみました。
羊毛の細かな繊維で泡立ちアップ!
見た目も可愛いので洗面台も華やきます♪

フェルトソープ

AUTUMN&WINTER 2023
Öl aburayama CATALOG ART CALENDAR

スケジュールが書き込めます

昨年より倍の大きになりました

2024年のアートカレンダーができました。2か月で1枚。季節の移り変わりを、なかまの作品で楽しんでくれるとうれしいです。

飾るだけでアートな部屋になるカレンダー

1,000円(税込)

ご注文はこちらから

●サイズ/29.7cm×42cm(A3)
●1冊8枚つづり

新役員選任のご報告

9/9(土)に第2回評議員会、9/20(水)に第4回理事会が開催され、下記の通り新しい役員体制が決まりました。任期は令和7年の定時評議員会終結時までとなります。

この改選に伴い、3名の評議員選任・解任委員の選任も行われました。

- ・理事長 末次 恵一 法人本部事務局長、生活介護事業葦の家管理者
- ・理事 安宅 正美 障がい福祉サービス（居宅介護事業所）管理者
- 〃 池上 洋一 IT関連会社社員、親の会活動（※継続就任）
- 〃 入川 文 コンサルタント会社勤務、葦の家ボランティアにも参加
- 〃 吉浦 隆紀 地域づくり活動家、元評議員
- 〃 吉原 育子 弁護士、成年後見センターあさひ所属
- 〃 藤 環 法人本部長、グループホームすてっぷ管理者
- 〃 西郷 俊介 りーどセンター長、相談支援センター管理者
- ・監事 馬見 昭次 法人経営：障がい福祉サービス事業所管理者、元福岡市職員
- 〃 内 満 財務管理：社会福祉協議会勤務、社会福祉士

・評議員選任・解任委員

馬見昭次（監事）・内満（監事）・鳥巢知美（事務局員）・青木昭憲（外部委員：継続）

ごあいさつ

平素より当法人の運営につきましては、関係各位の皆様からのご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。先日の理事会で理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが、理事長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

当法人は無認可作業所「若久共同作業所葦の家」をその前身としています。当時、私はこの作業所にボランティアとして関わっており、作業所で掲げていた「働こう、働けるんだ障がい者も」という言葉と、当時代表を務められていた故大石理事長の人柄に惹かれ、さまざまな活動に参加させていただいていました。そして法人認可後3年目の年に葦の家の支援員として入職しました。

それから二十数年、法人は「障がいがあっても地域の中でふつうの生活の実現」をめざし、ホームヘルプやショートステイ、相談支援、放課後等支援、グループホームといった地域生活支援事業を展開してきました。そこには無認可時代から脈々と続く仲間（当事者）、ご家族、関係者のさまざまな願いがあり、その実現に向けた取り組みが結実していったものだと思います。

このような先人からの願いを実現していくため、微力ながらも尽力していく所存です。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

理事長 末次 恵一





葦の家（生活介護）

グループ外出に行ってきました！

2班ずつ3日に分けて出かけました。今年は九州国立博物館と太宰府天満宮です。博物館は天井がとても高く、開放感のある施設の中に、さまざまな国の衣装やおもちゃの展示があり、独特な雰囲気にもいつもと違う表情を見せる仲間もいました。お土産コーナーでは、各々悩みながらも金平糖やペン、食品など好みのもので購入しました。

太宰府天満宮では紅葉を見て、秋を感じながら散策をしました。きれいな景色を見ながら、たくさん歩いた後の梅ヶ枝餅は格別だったようで、「美味しいねー！」と表情良く過ごされていました。

前日に「明日はグループ外出ですね」と話をすると、「楽しみ！」と笑顔が見られる仲間が多かったです。コロナ禍のためグループ外出ができない年もありましたが、仲間にとっては過去に行った楽しいイメージが残っているのだと思いました。これからも仲間にとって良い経験、楽しい思い出になるようなイベントを目指していきたいと思います。

（支援員：嶋津）



えーる油山（生活介護）



仲間で計画したグループ外出

えーる油山では、今年も小グループに分かれて出かけました。あるグループは、「だれかが嫌なこと、できないことはしない」「みんなの目的をはたせるか」「みんなで行けるところか？」などルールを決めて、2か月程前から仲間の会議を重ね、行き先や内容について一から話し、バスや地下鉄を使って「福岡空港～天神」に行くことに決めました。事前に企画していたウォークラリーに挑戦しながら、空港の展望台やお昼ご飯、天神の街並みやカフェを楽しみました。公共交通機関を使って行く普段とは違う外出に、出発時は緊張の色が見えた仲間たちでしたが、少しずつ緊張がほぐれ、明るい表情でおしゃべりに花が咲きました。仲間が主体的に計画した初めての企画は「楽しかった」「また来年も計画したい」と大好評でした。

（支援員：藤吉）



特別支援学校放課後等支援事業（屋形原・若久）

～ “ハロウィン”に考える、こどもたちの活動参加 ～

今年も毎年恒例のハロウィンイベントを実施しました🎃 新一年生のAさんにとって、こういったイベントの参加は2回目で、前はカラオケ外出でした。館内に入ることはできたものの、ロビーを走り回りながら、フリードリンクを楽しみ、時々カラオケボックス内（皆が歌っている）を扉のガラス越しに覗いて…、でも、結局部屋には入れませんでした。

Aさんは新しい場所への不安と興味が強く、一度過ごせないと思うと入れなくなってしまう。ハロウィンではカラオケ外出の経験を活かし、葦の家を訪問する際、まずは場所の確認から、葦の家の玄関までの通路(ここでは虫好きなAさん、すかさず地面のブロックを裏返し、ダンゴ虫を捕まえていました🐛)、そして玄関に入り、そこから一度はスムーズに食堂へ向かうものの、踵を返し玄関前通路へ(再び🐛をゲット!)、それでも最後は食堂へ戻り、ハロウィンのお菓子を受け取ることができました。玄関前通路で立ち止まらず、Aさんの虫への興味を無視して無理に葦の家へ入っていたら…。ずーっと、虫のことを気にしてハロウィンどころではなく、嫌な思い出にしかならなかったでしょう。



こういったイベントでは、こどもたちをどうかしてまとめて輪に入れたいという想いを押し通してしまいがちです。

あらためて活動参加の意味・意義をどこに持つのか、集団性も大切ですが、一番はこどもたちの想いを重んじる…そんなルームづくりを続けていこうと思うハロウィンでした。

(責任者：是永)

ヘルパーステーションほっとほっと・ショートステイ

ショートステイりーどの余暇活動♪

ショートステイでご利用者がどのように過ごしているかについてご紹介したいと思います。このテーマに至った経緯は、普段の過ごし方などを発信する機会が少ないため、意外と知らない方もいるのかもしれないと思ったからです。

写真にあるように一人一人、生き活きとした様子で余暇を過ごされています。私たちも知らない色々な表情を見せてくれ、「そんな表情もあるのか!」「そういうことが好きなんだ!」と常に新しい発見が溢れています。

しかし、ご利用者の中には本当にしたいことが出来ていない方がいるのが今の現状です。何故なら本当は外出したいけどテレビや本で過ごす方が一部いるからです。また紹介した余暇活動はショートステイりーど側



ゲーム

から提案したものではなく、各ご家庭から持参していただいたものがほとんどです。すぐには難しいですが、ご利用者の皆さんが本当にしたい余暇を過ごせるよう、ショートステイロードから提案していくことができたらと思います。

(支援員：高野)



テレビ



パズル



ブロック遊び

相談支援（基幹相談支援センター・相談支援センターあしっぷ）

11月は児童虐待防止推進月間 ～ 守るのは気づいたあなたのその勇気 ～

アツという間に秋が過ぎ、これから子どもたちは冬休みに入る時期になりました。皆さん、11月は「児童虐待防止推進月間」だということをご存じでしたか？ 時折、虐待事件が報道され、テレビや新聞で知らされることもあると思いますが、児童虐待は、決して他人事ではなく、子育て家庭だけの問題でもありません。地域の中で子どもたちを見守り、子育て家庭と一緒に子どもを育てていくことが大切です。

福岡市では令和5年4月から、毎月5日を「児童虐待防止推進の日」と定め、様々な啓発活動をおこなっています。子どもを守るのは、気がついた皆さんの勇気です。子育てに悩む保護者の方や、相談できる大人がいなくて困っている子ども自身はもちろん、地域で見守っている皆さんが相談できる先が設けられています。匿名で相談することもできますし、電話した方の秘密は守られます。

直接の関わりがなくても、この機会に、地域で子育てする大切さについてご家庭や職場内で少しお話してみませんか？

(相談支援専門員：田中)

◆児童相談所虐待対応ダイヤル（24時間受付・通話無料）

189（いちはやく） ※最寄りの児童相談所につながります

グループホーム（すてっぷ・すまいるホーム）

ホームの行事 ～ 誕生日会をしました ～

すまいるホームでは仲間の誕生日の月に誕生日会を行っています。今年度から葦の家がお休みの木曜日に行い、午前中に誕生日会をした後、お昼ご飯に特別メニュー、おやつにケーキを食べます。8月にはYさんとIさんの誕生日会をしました。感染症対策として1階と2階で分かれて行いました。誕生日会当日はフロアに飾り付けをして、仲間たちとハッピーバースデーの歌を

うたったり、バースデーカードを渡したりしました。写真撮影の際、Yさんは壁に飾っていたアニメのキャラクターを見てニコニコと撮影できました。この日の特別メニューはハンバーグとエビフライで、仲間たちは美味しそうに完食していました。今回のバースデーケーキはチョコレートケーキで、仲間たちはあっという間に食べてしまいました。

1日を通して仲間たちの笑顔がたくさん見られました。

私は今年度葦の家から異動してホームで仲間の支援に携わっていますが、誕生日会の特別メニューが豪華なところに驚きました。ピザやハンバーガーなど様々なメニューが考えられていて、外食することが難しい仲間たちにとって楽しみになっていると思いました。そして日々の支援の中で、ホームでは余暇時間の支援が大切であると感じています。仲間の生活を自分の生活に置き換えると、ホームでは自宅のように過ごせる環境が必要であり、同じ仲間に対する葦の家とホームでの関わり方の違いを知りました。それぞれの事業所の役割を学ぶ中で、毎日仲間を元気に送り出すため生活の基盤を支えることができるように努めていきたいです。

(支援員：松寄)



4月メニュー「ピザプレート」



6月メニュー「ハンバーガー」

今後の行事の開催について

トップ記事にありました通り、わはは祭りは「えりあ〜ト展」と形を変えて開催しましたが、まだまだいろんな行事が元通りには行えていません。毎年冬に開催していた「法人実践研究発表会」もコロナ前は大勢の前で発表する形式でしたが、今年までは小グループに分けた開催を予定しています。仲間たちの活動にしても、旅行やバスハイクの計画も中止・小規模化が続いています。しかし来年度の計画では多くの行事が通常通り、もしくは次第に規模を戻しながら再開する予定です。次年度は仲間と共に思いっきり活動していきたいと思います！



昨年度の発表会の様子

社会福祉法人 葦の家福祉会だより

令和5年12月号

発行日 令和5年12月1日

編集・発行 社会福祉法人 葦の家福祉会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川4丁目1-17

〈代表〉Tel 092-873-7481 Fax 092-834-3362

E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp

URL <http://www.ashi.sakura.ne.jp>



法人ホームページ